

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一般県道 下三永吉川線 外 災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 河川 護岸

ボーリング名	Bor. S43	調査位置	広島県東広島市西条町田口(黒瀬川 吾妻子浄水場下流 左岸側)	北緯	34° 23' 33"
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所	調査期間	2019年 3月 4日 ~ 2019年 3月 5日	東経	132° 44' 17"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ ン 定 者		ボ ー リ ン グ 責 任 者			
孔口標高	GH= 46.22m	角 度		方 位	
総削孔長	6.00m	地盤勾配		使用機種	試錐機 YBM YBM-05D エンジン ヤンマー NFD-7
				ポンプ	安田工業 TAP-120

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験						試料採取	室原位置試験	削孔月日				
												N 値	深 度 (m)	100mm ごと の 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50 回 の 貫入量	自沈時の貫入量				深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	
0	45.92	0.30	砂	砂	褐 褐				現世	マサ土質な砂。粒度分布は良い。少量の細粒分を含有する。造成土とみられる。	0.30	1.15	2	4	3	9								
1	45.57	0.65	シルト混じり砂	シルト混じり砂	淡緑灰~灰褐	rd2			新生代第四紀更新世	裏込め土とみられる礫質土。この地区に分布しない地質の礫を含む。礫分はφ25mm以下主体。マトリクスは細中砂からなる。	0.30	1.45												
2	44.22	2.00	粘土	粘土	褐灰	中位			在来地盤(西条層)に該当。細中砂を主体に、少量のシルト分を均等に含有する。1.0~1.4m間は、吉備土級の細砂からなる。全区間でコアは円形形状を保つ。	0.30	2.15	4	4	8	16									
3	43.87	2.35	シルト質砂	シルト質砂	淡灰	rd3			中生代白亜紀	やや固い粘土。指で強く押ししても、大きく変形することはない。	0.30	2.45	17	33	50	140								
4	43.02	3.20	風化花崗岩	風化花崗岩	淡灰・淡赤灰				中生代白亜紀	シルト・粘土と粗砂が不規則に混在する。全体としては細互層をなしている。推定される。2.0~3.0m間には、炭化した木片を混入している。	0.30	3.29	貫入不能			50								
5	41.22	5.00	花崗岩	花崗岩	淡赤灰				中生代白亜紀	見掛け上、棒状コアからなる。潜在的な割れ目に富み、コアを指すと10cm以下の短柱状に分離しやすい。岩芯風化を伴い、岩片は全体に脆い。打撃により砂状に粉砕しやすく、貫入試験は設け付ける。C級(軟岩)に相当する。	0.30	4.00	貫入不能			50								
6	40.22	6.00							中生代白亜紀	柱状コア主体。岩芯風化は弱まり、岩片は少し軟質~中硬質となる。強い打撃を加えても、土砂状に崩れたり粉砕したりすることはない。OM級岩盤(軟岩I)に相当する。	0.30	4.63	貫入不能			50								
7												5.00	貫入不能			50								
8												6.00	貫入不能			50								